

対マラウイ一般無償資金協力
ムワンザ県・ネノ県における地下水開発計画
井戸引渡式
2013年7月5日



左から、ムピンガンジラ水開発・灌漑大臣、寒川駐マラウイ日本国大使、マウエル水開発・灌漑省次官、マカンガ水開発・灌漑省次官

2013年7月5日、平成22年度対マラウイ無償資金協力「ムワンザ県・ネノ県における地下水開発計画」の井戸引渡式が行われました。

2011年1月26日、日本政府は、本事業実施のために総額4億2600万円の交換公文をマラウイ政府と締結しており、本事業を通し、ムワンザ県において58基、ネノ県において61基の井戸建設を支援しました。

事業実施前は、安全で清潔な水にアクセスできる人口はムワンザ県においては44.7%、ネノ県においては38.6%と限られており、大半は川や泉、安全が確保されていない井戸からの水を利用していました。本事業により、約28,000人に対して安全で清潔な水へのアクセスが確保され、下痢や赤痢等の感染症が減少されることが期待されています。式典には、マラウイ政府からムピンガンジラ水開発・灌漑大臣が出席しました。